化学物質等安全データシート(MSDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	:反応染料インク Rc210 ブラック
製品コード	:SPC-0702K-1
会社名	:株式会社ミマキエンジニアリング
住所	:長野県東御市滋野乙2182-3
担当部門	:IM事業部
担当者名	:田林 勲
メールアドレス	:ink@mimaki.jp
電話番号	:0268-64-2413
FAX番号	:0268-64-5580
緊急時の電話番号	:0268-64-2281
(事故に伴い急性中毒のおそれがある場合)	:(財)日本中毒情報センター 中毒110番 ＊一般市民専用電話 (大阪)072-727-2499 365日 24時間対応 (つくば)029-852-9999 365日 9～21時対応 ＊医療機関専用電話 (大阪)072-726-9923 365日 24時間対応 (つくば) 029-851-9999 365日 9～21時対応
推奨用途及び使用上の制限	:水系染料インク、インクジェットプリンター用

2. 危険有害性の要約

〔GHS分類〕

物理化学的危険性

分類対象外、もしくは分類できない

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性	:区分3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:区分2A
生殖毒性	:区分1A
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	:区分1
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	:区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)	:区分外
水生環境有害性(慢性)	:区分外

〔GHSラベル要素〕

絵表示

注意喚起語

危険

危険有害性情報

H316 軽度の皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ

H370 臓器の障害
H372 長期または反復暴露による臓器の障害

注意書
［安全対策］
保護眼鏡／保護面を着用すること。（P280）
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。（P270）
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。（P202）
使用前に取扱説明書を入手すること。（P201）
取扱後は手をよく洗うこと。（P264）
ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入しないこと。（P260）
［応急措置］
暴露した場合：医師に連絡すること。（P307+P311）
暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断／手当てを受けること。（P308+P313）
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。（P314）
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。（P332+P313）
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。（P333+P313）
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。（P305+P351+P338）
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。（P337+P313）
［廃棄］
P501 内容、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し廃棄すること。

〔その他の危険有害性〕
- 軽度の皮膚刺激
- 重篤な眼への刺激
- 生殖能または胎児への悪影響の恐れ
- 臓器の障害
- 長期又は反復暴露による臓器の障害

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区分　　　：混合物
成分及び含有量

成分名	含有量〔%〕	官報整理番号	CAS No.	備考
エチレングリコール	15-25	2-230	107-21-1	
ジグリセリン	15-20	2-418	59113-36-9	
染料	10-20	—	あり	
水	30-50		7732-18-5	
その他	<5		—	

4. 応急措置

吸入した場合
・気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合
・付着物を布にて素早く拭き取る。
・大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
・汚染された衣類を取り除くこと。
・外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
目に入った場合
・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
・まぶたの裏まで完全に洗うこと。
・直ちに医師に連絡すること
飲み込んだ場合
・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
・嘔吐物は飲み込ませないこと。
・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護
・適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。
・換気を行う。

5. 火災時の措置

消火剤
・全ての消火剤。
特有の消火方法、消火を行う者の保護
・周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
・作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
環境に対する注意事項
・河川への排出等により、環境への影響を起さないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材
・漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
・付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置すること。
・スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土等で流出を防ぐ。水での洗浄等も河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
・換気の良い場所で取り扱う。
・密閉された場所における作業には、充分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
・皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、眼に入らぬよう保護具を着用する。
・取り扱い後は手・顔などはよく洗い、休息所などに手袋などの汚染保護具を持込まない。
保管

・日光の直射を避ける
・通風の良いところに保管する。

8.　暴露防止及び保護措置

〔管理濃度、許容濃度〕
・情報なし
〔設備対策〕
・屋内作業の場合、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気などにより作業者が暴露から避けられるような設備にすること。

〔保護具〕
呼吸器の保護具
・作業を行なう場合には、適切な保護マスクを着用する。
手の保護具
・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。
目の保護具
・取り扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚及び身体の保護
・取り扱う場合には、皮膚を直接曝露されないような衣類を着けること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9.　物理的及び化学的性質

性状（状態、色）	：黒色液体
臭い	：わずかな臭い
粘度	：6－7mPa・s(35℃)
Ph	：7－8
沸点（初留点及び沸騰範囲）	：情報なし
引火点	：引火しない
燃焼又は爆発範囲の上限下限	：情報なし
蒸気圧	：情報なし
蒸気密度	：情報なし
比重（密度）	：約1.1（25℃）
溶解度	：水に対する溶解性；易溶
n-オクタノール/水分配係数	：該当せず
自然発火温度	：情報なし
分解温度	：情報なし

10.　安定性及び反応性

安定性（危険有害反応可能性）
・強酸化剤、強塩基と反応する可能性がある。
避けるべき条件
・高温を避ける。
混触危険物質
・強酸化剤、強塩基
危険有害な分解生成物

化学物質等安全データシート（MSDS）

・燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。
その他の危険性情報
・情報なし

11. 有害性情報

〔急性毒性〕
混合物としての情報はない。

成分名	経口 (rat)	経皮 (rat)	吸入(rat) (ガス)	吸入(rat) (蒸気)	吸入(rat) (ミスト)
エチレングリコール	LD50 4000mg/kg	LD50 10600mg/kg			

〔皮膚腐食性/刺激性〕
混合物としては区分3

エチレングリコール	：区分3

〔眼に対する重篤な損傷・刺激性〕
混合物としては区分2A

エチレングリコール	：区分2B

〔呼吸器感作性又は皮膚感作性〕
情報なし
〔生殖細胞変異原性〕
情報なし
〔発がん性〕
情報なし
〔生殖毒性〕
混合物としては区分1A

エチレングリコール	：区分1B

〔特定標的臓器・全身毒性−単回ばく露〕
混合物としては区分1

エチレングリコール	：区分1

〔特定標的臓器・全身毒性−反復ばく露〕
混合物としては区分1

エチレングリコール	：区分1

〔吸引性呼吸器有害性〕
情報なし
〔その他の有害性情報〕
情報なし

12. 環境影響情報

一般注意事項
・漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
生態毒性
・混合物としてのデータがない
残留性・分解性
・混合物としてのデータがない
生態蓄積性

・混合物としてのデータがない

土壌中の移動性

・混合物としてのデータがない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

・廃インク、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
・容器、機器装置を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

汚染容器及び包装

・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
・許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

14. 輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

国連番号（UN No.）	：該当しない
国連輸送名（Proper Shipping Name）	：該当しない
クラス（Class）	：該当しない
容器等級（Packing Group）	：該当しない
海洋汚染物質（Marine Pollutant）	：該当しない

〔国内規制〕

陸上規制情報	：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上規制情報	：船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空規制情報	：航空法の定めるところに従うこと。

〔国際規制〕

海上規制情報	：IMO/IMDGの規定に従うこと。
航空規制情報	：ICAO/IATAの規定に従うこと。

15. 適用法令

消防法	：該当せず
毒物および劇物取締法	：該当せず
化学物質の審査および製造等の規制に関する法律	：該当せず
労働安全衛生法	：名称等を通知すべき有害物・・・エチレングリコール
PRTR法	：第1種化学物質・・・該当しない
	：第2種化学物質・・・該当しない

16. その他の情報

化学物質等安全データシート（MSDS）

参考文献
国際化学物質安全性カード（ICSC）日本語版

本データシートは、作成時または改定時において、製品及びその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱情報）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂致します。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた使用以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。

改訂履歴

Ver.	日付	項目No.	内容
1.00	2010/12/07		新規作成